

1 出展形態及び出展勧奨について

出展形態について

Point
1

出展期間

メイン展示（博覧会のテーマ、日本政府、屋内出展のテーマを踏まえ、園芸関連団体、企業・地方自治体等が出展展示を行う）の出展期間を最低1週間とし、出展参加の負担を軽減するとともに、出展者の希望に応じて、従来同様2週間の出展も可能とする等、フレキシブルな対応を図る。

Point
2

出展面積

出展規模は19㎡を想定しているが、出展者の希望に応じて、出展スペースを小さくした展開も可能とする。

* 出展スペースをより小さくした場合の対応策として、空きスペースを鉢物の使用した目隠しや、鉢物と床几等を使用した休憩コーナー等の展開を行う。

Point
3

出展参加内容の多様化

出展者自身が現地へ赴き、「装飾展示」「品種展示」を行う従来の方法に加え、オンラインを活用した出展形態等も検討する。

【展開例】

- ① 出展者が1週間現地に赴き、「装飾展示」「品種展示」を行う。
- ② 出展者が現地へ赴き、「装飾展示」「品種展示」を行いその後帰国するが、展示自体は1週間実施。
※ 現地でワークショップ・デモンストレーション等の実施可能
- ③ 花きのみ参加
・ 出展花きを現地へ送付し、現地の花き専門スタッフが「装飾展示」「品種展示」を行い、1週間展示する
※ リアルとオンラインを組み合わせたハイブリット参加可能
（出展者が事前に花きなどを現地に送付。モニターを利用して現地と組み合わせたワークショップ等を実施）

また、従来型では、花を中心とした出展参加に限定していたが、今回は、博覧会テーマ「緑の砂漠、よりよい環境」に即した農業技術の出展も可能とすることで、参加者の間口の拡大を図る等、新しい出展形態を検討する。

知的財産権の確保

種苗登録をしていないものは、簡単に手の届かない場所に展示するなどの工夫を行い展示する。

■ 展示物の入替時の撤去及び展示装飾作業について

展示物の入替時の撤去及び展示装飾作業については、ドーハ博覧会事務局と協議を行い、ブース閉鎖を行い、昼間の作業とする検討を行う。

出展参加フロー			
4月	出展勧奨期間	出展募集要項に基づき出展の呼びかけ	日本国政府出展の概要と全体テーマ 出展コーナー、商談コーナーの説明
5月	出展説明会	全体テーマの説明と出展業務の詳細説明	出展者説明会もしくは個別説明
6月	出展者集約	出展勧奨の集約による展示スケジュール構成	
8月末	出展の締切	出展参加の決定	期間の調整決定
1カ月前	展示企画期間	展示内容の検討	必要に応じて事務局と相談
	展示企画締切	出展者の展示プランの提出	事務局へ提出
	展示企画締切	出展事務局と出展者との調整	事務局が窓口となり、出展者とデザイン調整
	デザイン決定	出展者の展示デザインの決定	船便輸送などがある出展者は輸送開始
	デザイン管理	現地事務局確認	出展作業が予定通り実施されているか確認

2 花きPR・コンテスト出品勸奨について

出品勸奨の考え方

2023年ドーハ国際園芸博覧会の開催期間（2023年10月2日～2024年3月28日）は、春から秋に開催される過去の多くの園芸博覧会と大きく異なるため、以下をポイントに出品勸奨を行う。

Point 1 **これまで時期的に出品できなかった品目を出品するよい機会。**

これまで季節的に出品できなかった品目の出品の機会であることを周知し、出品が促進されるよう募集活動を行う。

【今回の博覧会開催期間の「切花の品目」と「鉢物の品目」の一例】

切 花	キク、ボンバイケイトウ、ダリア、カーネーション、バラ、（トルコギキョウ）、グロリオサ、オキシペタルムハボタン、シンビジウム、ユリ、スイートピー、ランキユラス、チューリップ、モモ、サクラ、フリージア、リモニウム、アルストロメリアアスター、スカビオサ など
鉢 物	キク、ダリア、ハボタン、シンビジウム、ファレノプシス、ユーフォルビア（ポインセチア）、シクラメン、ランキユラス、ボケ、ツバキ、アザレア、プリムラ、マーガレット、クレマチス など

Point 2 **コンテスト出品に加え花きPRの出品にも重点を置いた出品勸奨を実施。**

AIPHの基準に基づくコンテストで国際的な評価を得ることを目標とするとともに、この時期に国際的な園芸博覧会で花きの展示・PRができる価値をお伝えし、花きのPR展示への参加を呼びかける。PR花材の展示が、期間中安定的に行えるよう生産者・市場関係者等へ情報提供をする。

Point 3 **植物防疫上の規制、輸入の条件に関する情報提供。**

カタールへの花きの輸送（輸出）実績が少ないため、花き輸出に関する条件を速やかに確認し、出品希望者に情報提供を行う。この時期に輸出経験のない出品者にも、必要な情報を提供し、出品参加しやすくなるよう配慮する。

勸奨活動

花き卸売市場関係者、花き団体担当者等と連携して随時最新の情報を集め、広くアプローチを行う。カタールへの植物防疫上の条件を速やかに確認の上、秋から春（10月～3月）にかけての時期に出品可能な品目、輸出重点品目等の情報を整理し、生産者、育成者、輸出事業者（花き市場や生産者等）に呼びかけを行う。

1 花き専門スタッフの募集と研修

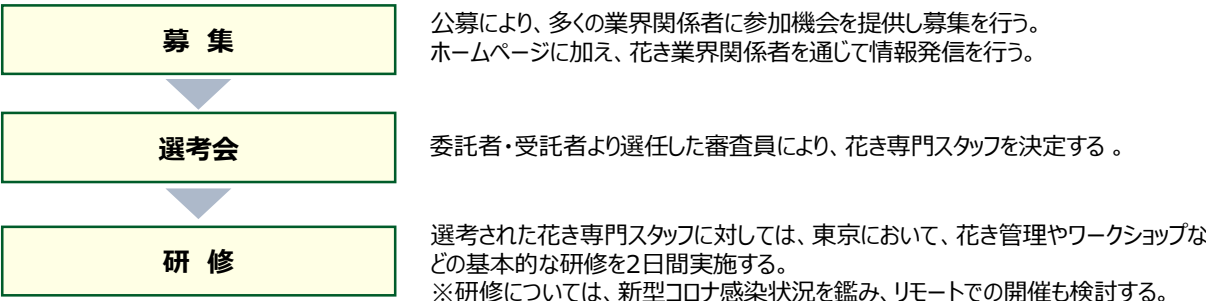
花きに関する専門知識を有し、展示物の維持管理、来場者対応、運営管理業務等を支援する花き専門スタッフについては、開会期間が6ヶ月と長いことから、これまでの国際園芸博覧会と同様、前期と後期の2期に分けて募集を実施する。

前期	後期
3カ月×5名（程度）	3カ月×5名（程度）

花き専門スタッフの構成は、流通・小売・生産者・フローリスト（いけばな）等、花き業界関係者を想定し、業務内容とそれに応じた必要人数を提示して広く公募を行う。応募いただいた候補者に対して選考会を開催して花き専門スタッフを決定する。

※花き業界における人材育成の観点から、応募者は過去類似（フェンロー2012、アンタルヤ2016、北京2019、アルメーレ2022）の専門スタッフ参加が1回までの方とする。

決定した花き専門スタッフに対しては、東京で研修会（2日間）を行い、当事業の目的や実施内容、基本的な技術研修等を行う。



1 オープニングセレモニー

日本の出展区画において、日本からの来賓・出席者、日本国大使館関係者等の参加の下にオープニングセレモニーを開催する。カタル国側が主催する開幕式が別途開催される見込みであることから、その日程も踏まえ、可能な範囲で博覧会事務局等カタル側の関係者を招待する。例えば、博覧会初日の午前中に下記プログラムを行い、午後から一般開放とすることを検討する。

日本国政府出展 オープニングセレモニー

日本政府出展のオープニングとして、農林水産省が担当する「屋内出展会場」でのテープカットセレモニー、国土交通省が担当する「屋外出展会場」でのセレモニーを開催し、連携して一体感のあるセレモニーとする。
花き等園芸関係者や造園関係者の協力を得て、伝統ある日本文化のデモンストレーションやワークショップを実施することで、来場者へ日本出展のイメージを深く印象付ける。
現地日本人コミュニティ等の協力による和装のアテンド等についても可能な範囲で検討する。



2022年オランダ・アルメーレ国際園芸博覧会の様子

2 ジャパンデーイベント

ナショナルデーとして設定される「ジャパンデー」とその関連イベントを「ジャパンデーイベント」とし、日本とカタルの交友の場とする施策を実施する。なお、出展国に対するナショナルデーの設定については、政府代表である在カタル日本国大使館を通じてカタル政府及び、博覧会事務局と調整を行う。

ジャパンデーセレモニー（カタル政府主催）

ジャパンデーのセレモニーはカタル政府側が主催となり、日本側の主賓が招待される。セレモニーでは日本側の文化プログラムの披露も行う。



ジャパンデー アトラクション（日本政府主催）

ジャパンデーのメインアトラクションとして、来場者に向けてステージパフォーマンスを実施することを検討。
例えば、現代技術のバーチャル・リアリティと日本の文化の象徴である書道を掛け合わせた「VR書道パフォーマンス」に加え、ステージ上では日本産花き等を使用したフローリストのパフォーマンスとの融合も検討。
リアルな和楽器の音楽に合わせてバーチャル空間のなかでメッセージを表現することで、印象的な発信を演出する。
また、VR書道やARフラワーデザインを実際に体験していただくことも可能。
カタル国等へ日本の花き文化・伝統芸能を発信するとともに、両国の交流の一層の推進を目的として展開する。
参加者はスクリーンに映し出されるバーチャル映像と現実のステージパフォーマンスを同時にご覧いただく。



「プログラム案」

- ・VR書道パフォーマンス
- ・ARフラワーデザイン
- ・日本の各種音楽によるおもてなし

日本国政府ジャパンデー レセプション（日本国政府主催）

カタル側主催のセレモニーへの日本側の答礼レセプションとして、会場内にてカタル側の政府、博覧会事務局、他の公式参加者（出展国・国際機関）などを招待し、レセプションパーティーを開催する。条件を検討した上、必要に応じて日本食のケータリング等も用意したおもてなしを行う。

レセプションにおいては、カタルの招待者に向けて、いけばなパフォーマンスなどの検討を行う。



2019年中国・北京国際園芸博覧会の様子

3 クロージングセレモニー

日本国政府出展展示会場のクロージングセレモニーを実施する。日本国出展に尽力いただいた方を中心に招待するが、カタール国側が主催する閉幕式が別途開催される見込みであることから、その日程も踏まえ、可能な範囲で博覧会事務局等カタール側の関係者も招待し、感謝の意を表する。

日本国政府クロージングセレモニー

日本国政府のクロージングセレモニーとして、感謝の意を表すとともに、出展にご尽力いただいた方々に可能な限り来場いただき実施する。



2019年中国・北京国際園芸博覧会の様子

4 ビジネス意見交換会

カタール国をはじめとする中東地域への日本産の花きの輸出は極めて少ない実態にあることから、本園芸博覧会を契機とした輸出拡大に資するため、生産・流通・消費等花き園芸関係者、学識経験者等による両国の意見交換会を開催し、需要動向、輸出拡大の可能性について検討する。

ジャパンデーに合わせた開催を検討するとともに、意見交換の参考とするため、それに先立ち、日本の花きやその展示について、カタール側の関係者の意見を伺う機会を設けることも検討する。

テーマ案

花き（切り花、盆栽、植木等）の需要動向と今後の輸出ビジネス等の拡大について



意見交換会イメージ



一般展示イメージ



リゾートホテルのフラワーアレンジメントイメージ

5 体験・交流イベント

花や緑をはじめ、日本のいけばな、盆栽等花き文化をはじめとする独自文化の紹介等を通じて、文化交流を深めていただくことを目的とした体験・交流イベントを実施する。基本的にはカタール現地のボランティアを中心に、季節毎の伝統的な催事やワークショップ、デモンストレーション等を会期中を通して展開する。

《プログラム案》

季節の催事	年間行事やお祝い事に合わせたワークショップ （月見、敬老の日、ハロウィン、クリスマス、年越し、お正月、成人式、節分、バレンタイン、ひな祭り、など）	
花みどり ワークショップ	花のプログラム	いけばな／フラワーアレンジ／リースづくり／ミニブーケづくり
	植木のプログラム	盆栽の剪定／関守石づくり／ミニ盆栽づくり／剪定枝を活用した額づくり
	苗・鉢のプログラム	寄せ植え／サンドアート／芝ぼうやづくり／苔玉／毛糸玉 など
	植物クラフト	押し花アート／エッグボマNDER など
	日本の文化・遊び	折り紙／書道 など

※現地の花材・資材などの調達状況により具体的な実施内容の検討を行う他、屋外出展とも情報共有しながら実施していく。

《過去の園芸博覧会における体験ワークショップ・デモンストレーション》



1 ホームページ及びソーシャルメディアの活用

日本国政府出展の情報プラットホームとなるホームページを日／英2カ国語で構築する。
ホームページやFacebookを通じて、世界向けに現地の展示やコンテストの結果のリリースを行う。
ホームページに関しては、定期的に博覧会会場全体や日本国政府出展展示会場の情報更新をするとともに、コンテスト受賞作品に関する速報を発信する。

HP：2月上旬リリース URL:<https://www.dohaexpo2023.jp/>
SNS：リリース時期調整中

「WEB展開イメージ」

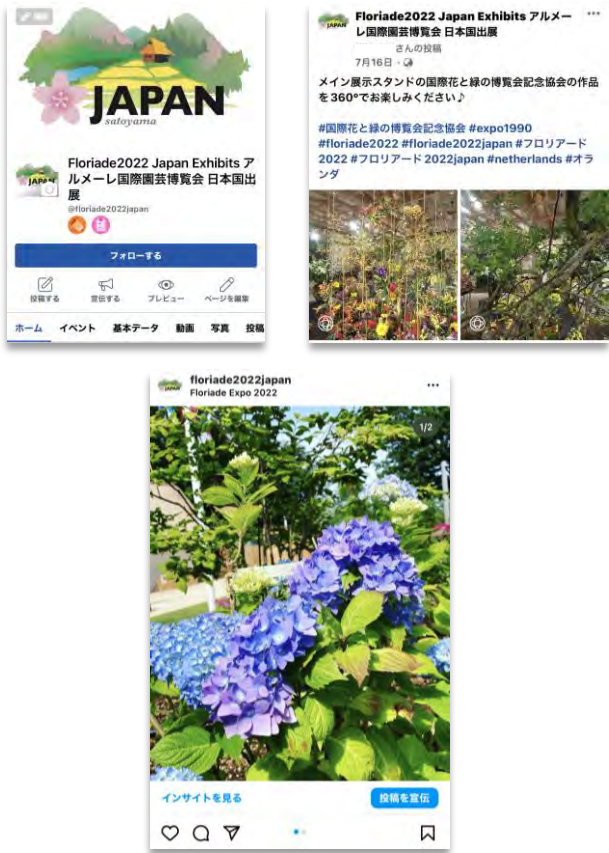
すべての情報を集約し、わかりやすい構成と好印象を得るデザインを工夫することで、興味を持った方がアクセスし、行動を誘発させる重要なツールとして運用する。また、WEBメディアとして、個人のつながりを活用することで情報の新鮮さや波及力・拡散性・共有性に優れたSNS（Facebook、Instagram等）にもアカウントを開設する。

関与者層を広げ、口コミや「いいね」を誘発する公式サイトのメディア化

社会性や受け手の関心領域に寄り添い、興味・関心を引くサイトの構築で、関与度の低い層にも「見つけてもらい」やすくし、多様な切り口やストーリーのある情報を発信することで、新しい情報と接触できるサイトとして、能動的・定期的にリピートを促進する。



SNS展開イメージ



2

パンフレット等（来場者用、事業者用）の制作について

来場者用情報発信ツールの制作

国内外業界関係者や来場者に対して出展内容等の情報を発信し、その魅力を訴求するツールを展開。ツール内容としては、展開する展示テーマや概要の紹介、花育などの情報等、日本の花き文化をより深く知っていただくことができる内容で構成・展開する。

- ※2言語併記（日本語・英語）
- ※環境に配慮したオンラインパンフレット等のツールの検討を行う。

「展開イメージ」

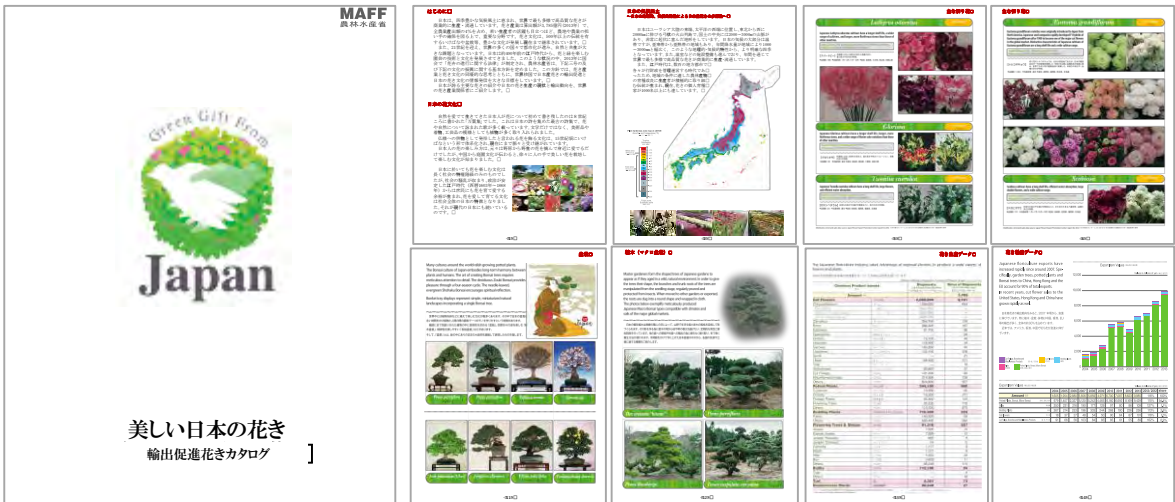


事業者用パンフレットの作成

国内外の関係者向けに、展示品種だけではなく、日本の花き産業や花き文化などに関する情報を取りまとめたビジネスツールとして、日本語と英語の2カ国語を併記するパンフレットを展開する。
掲載内容については、日本の花き産業や主な展示品の特徴・産地などを紹介し、輸出拡大につながる魅力的な内容を構築する。また、デザインについても、業界関係者の目を引くデザインを作成する。

- ※パンフレットについては、上記「来場者配布用情報発信ツール」同様、環境に配慮したオンラインパンフレット等の検討も行う。

「展開イメージ」



3 メディア広報について

日本国内の園芸雑誌・新聞を活用した情報発信

日本国内においても効果的なタイミングで、園芸雑誌や新聞へ積極的な情報提供を行う。
また、取材要請を行うことで、メディア露出を促進。日本国政府出展の認知を図るとともに、花きと園芸業界への興味・関心喚起を図る。

広報ツール（ポスター）による告知展開

博覧会広報担当者よりEXPO2023の公式ロゴ等情報入手次第、ポスター制作を行い、花き業界、関連団体、行政等にポスター掲出の依頼を行い本事業の告知を行う。

【イメージ】



《制作部数等》

サイズ：B2
制作部数：500部